

愛知県がんセンター 中央病院

婦人科部



主な婦人科がんについて

- 子宮頸がん（けいがん）
- 子宮体がん（たいがん）
- 卵巣がん

当院における新しい取り組み

- 遺伝性乳がん卵巣がん症候群
- ロボット手術

【女性性器に発生する腫瘍】

良性腫瘍

悪性腫瘍(がん)

子宮 (頸部)

頸管ポリープ

子宮頸がん

子宮筋腫

(体部)

子宮内膜症など

子宮体がん

子宮肉腫

卵管・卵巣

皮様嚢腫

チョコレート嚢腫など

卵巣がん

外陰・膣

バルトリン腺のう胞

外陰・膣がん

【主な症状】

子宮頸がん

性器出血
接触出血
おりもの
疼痛
尿路障害
直腸障害

子宮体がん

性器出血
おりもの

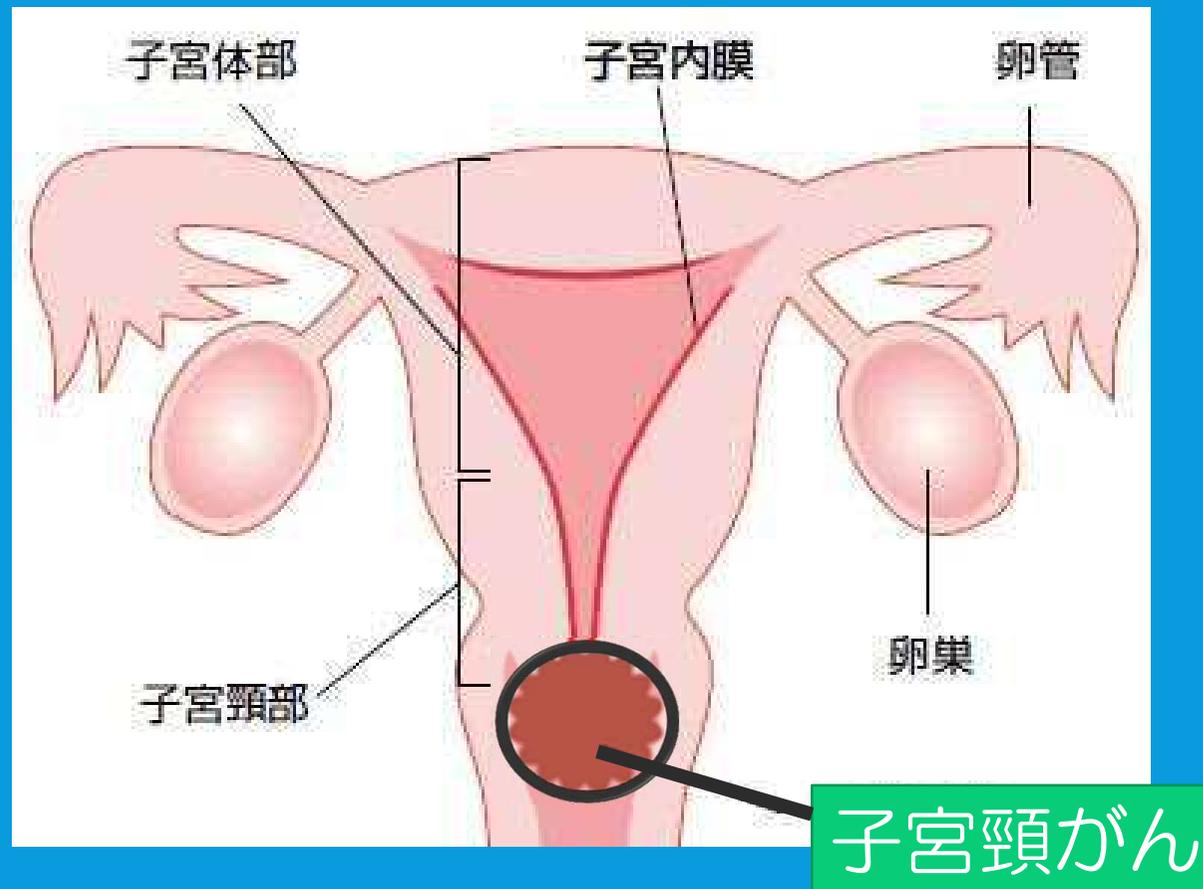


卵巣がん

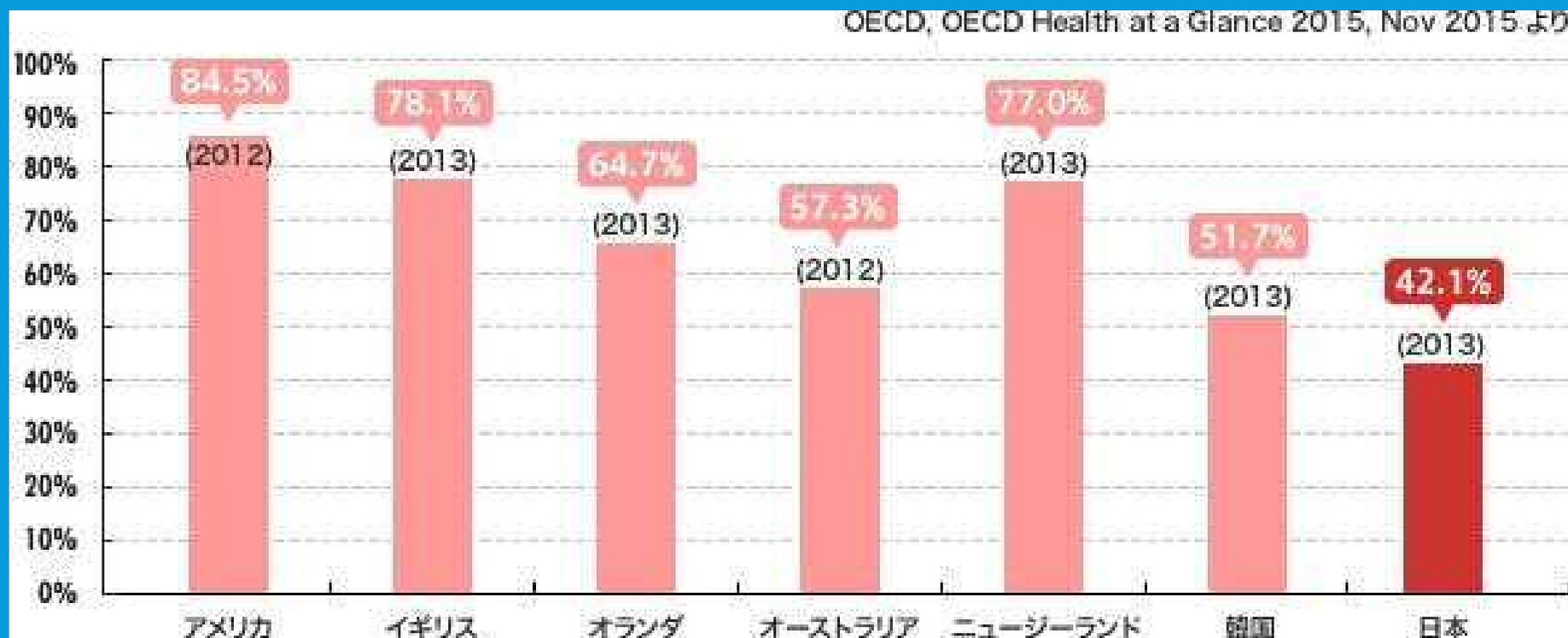
腫瘍の触知
おなかの張り
腹水

子宮頸がん（けいがん）とは？

- ・子宮下部の管状の部分子宮頸部といい、その部位より生じる病気です。



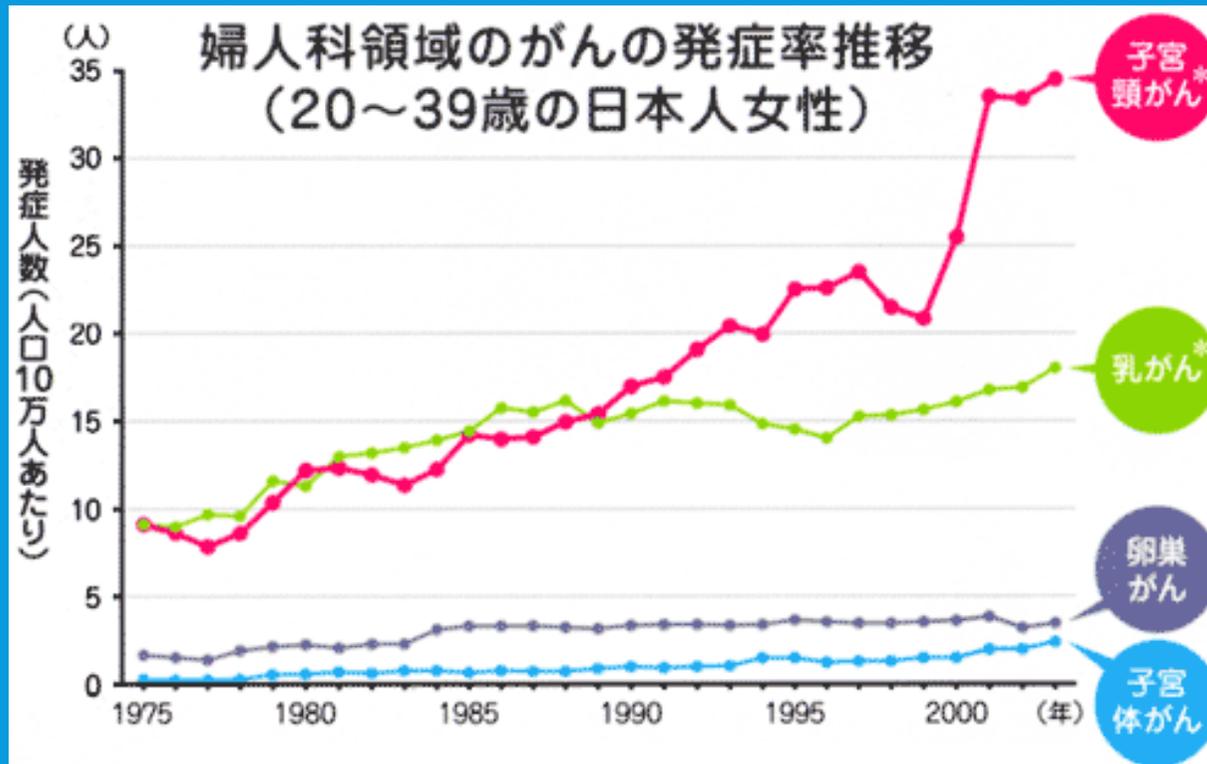
● 女性の子宮頸がん検診受診割合（20-69歳）



先進国の中で、日本の受診率は40%代と極めて低いのが実情です。

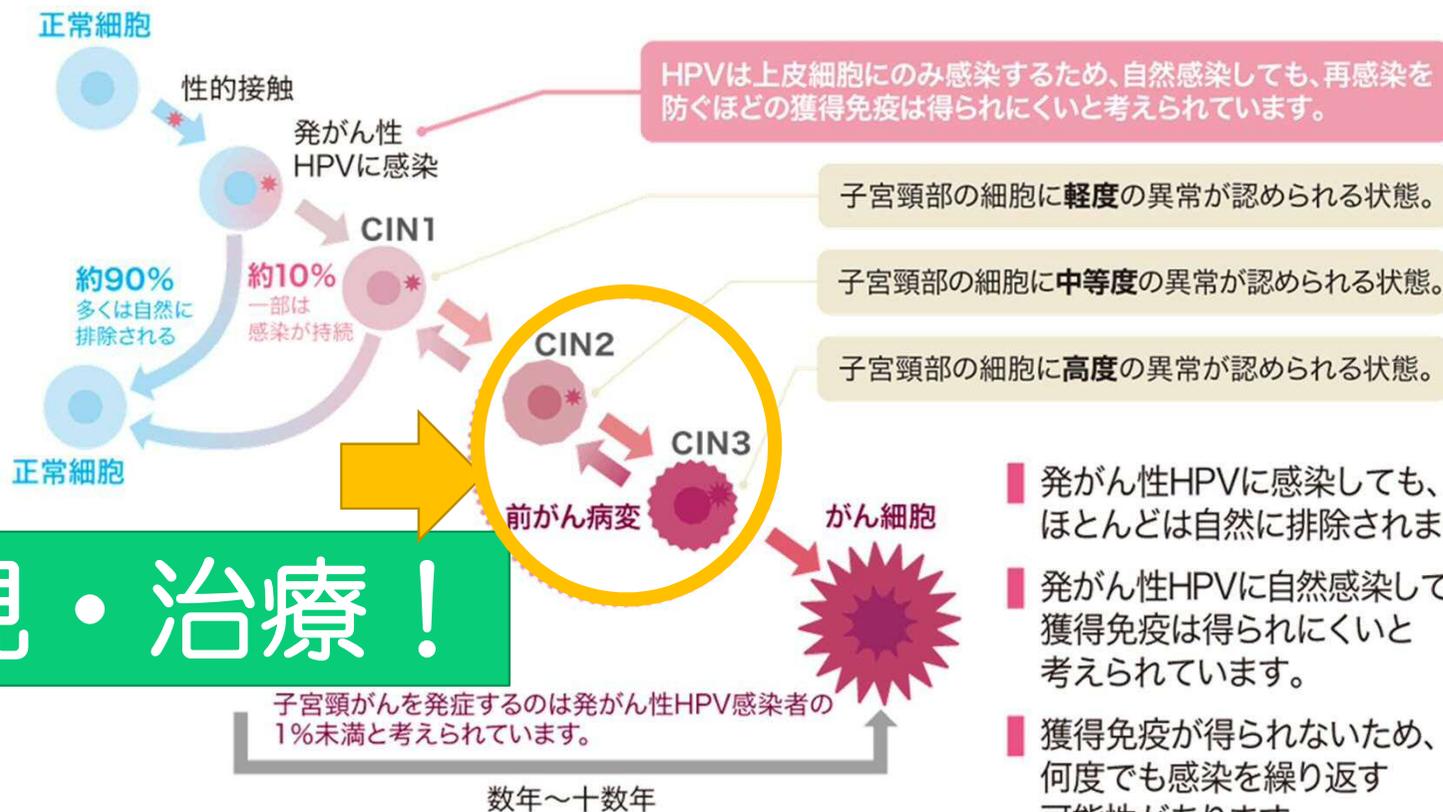
若い世代で増える子宮頸がん

子宮頸がんの以前は発症のピークが40～50歳代でしたが、最近**は20～30歳代の若い女性**にも増えてきており、30歳代後半がピークとなっています。



国立がんセンターがん対策情報センター、人口動態統計(厚生労働省大臣官房統計情報部編)

発がん性HPVの感染と子宮頸がんへの移行



- 発がん性HPVに感染しても、ほとんどは自然に排除されます。
- 発がん性HPVに自然感染しても、獲得免疫は得られにくいと考えられています。
- 獲得免疫が得られないため、何度でも感染を繰り返す可能性があります。

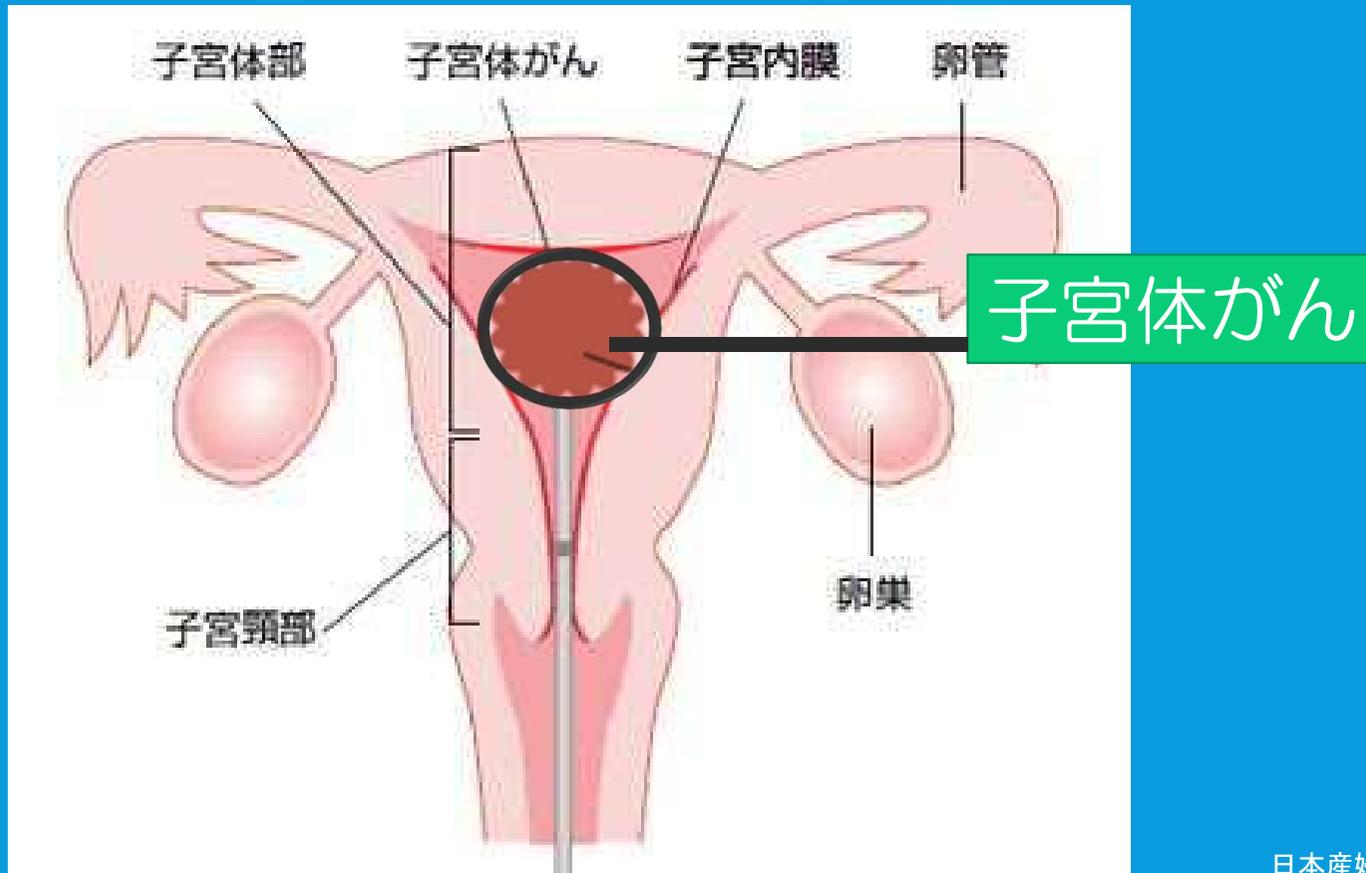
CIN: Cervical intraepithelial neoplasia(子宮頸部上皮内腫瘍)。上皮内に限局する異形成と上皮がんのこと。
子宮頸部表面の細胞が異常増殖したのが子宮頸部異形成で、前がん状態と考えられます。CIN1、CIN2およびCIN3の3段階があります。

早期発見・治療！

円錐切除術 or 光線力学療法

子宮体がん（たいがん）とは？

- ・月経をおこす子宮内膜という組織から発生し、子宮内膜がんとも呼ばれています。



子宮体癌について

- 最近我が国の成人女性に増えてきているがんのひとつです。
- 一番多い自覚症状は性器出血です。
閉経後あるいは更年期での不正出血がある時には特に注意が必要です。

→症状を放置しないで早期受診することが重要です。

子宮体がんになりやすい方

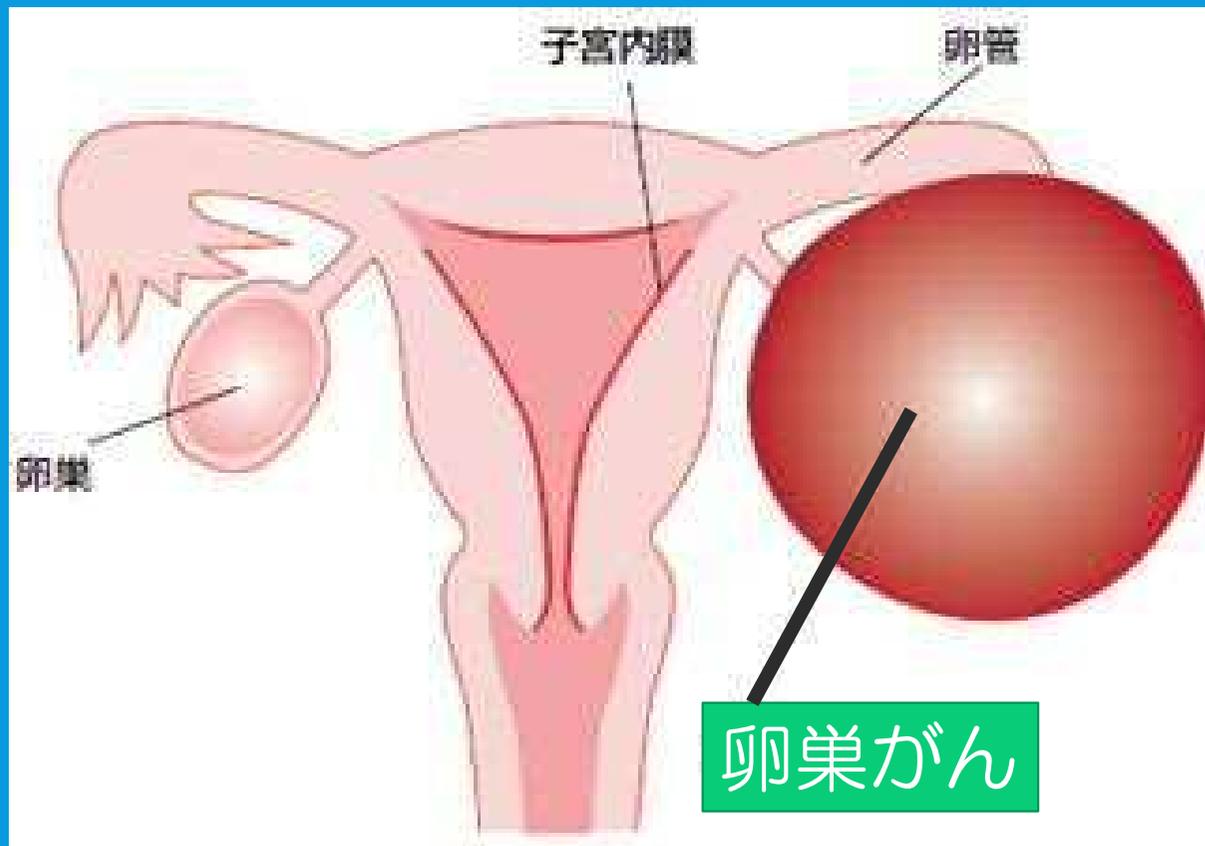
- ・ 出産したことがない、肥満、月経不順がある、卵胞ホルモン製剤だけのホルモン療法を受けている方など。

気を付けていただきたい方

- ・ 高血圧、糖尿病、近親者に乳がん・大腸がんを患った方がいることなど

卵巣がんとは？

- 卵巣腫瘍には様々な種類（30種類程）があります。症状が出にくいいため早期で発見されることは少ないです。



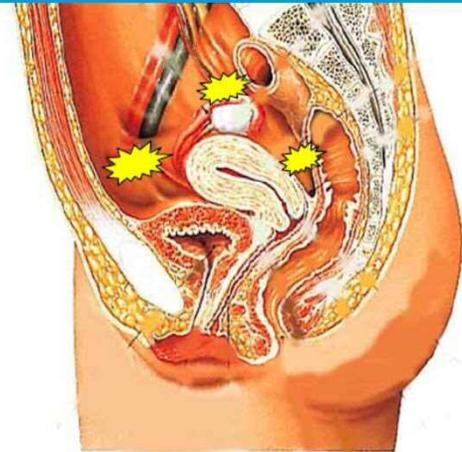
卵巣がんとは？

- お腹がでてきても
便秘と間違われる患者さんがいらっしゃいます。

・卵巣の解剖学的特徴

卵巣：骨盤内(腹腔内)にフリーな状態

大きくなっても周囲の臓器を圧迫しない
腹腔内全体に容易に広がる
出血、通過障害などの症状が出にくい
子宮癌のような癌検診の方法がない



まとめ

- ・医学がどんなに進歩しても、いまだにがんを克服するには早期発見・早期治療が重要なのは変わりありません。心配な症状があれば、婦人科での診察を躊躇することなく受けることが大切です。

新しい取り組み

- 身体への負担が少ない腹腔鏡下手術はもちろん、現在は、新しい試みとして
 - 子宮頸がん・体がんのロボット手術
 - 予防的卵巣卵管切除（遺伝性乳がん卵巣がん症候群）
- を開始しております。
- 婦人科がんの新薬の治験・臨床試験も行っております。

ロボット手術

日本の現状

本邦では2009年11月の手術支援ロボットda Vinciの薬事承認以来ほぼ8年が経過し、世界第2位のダヴィンチ保有国となったものの婦人科領域の普及は充分ではありません。

当院では

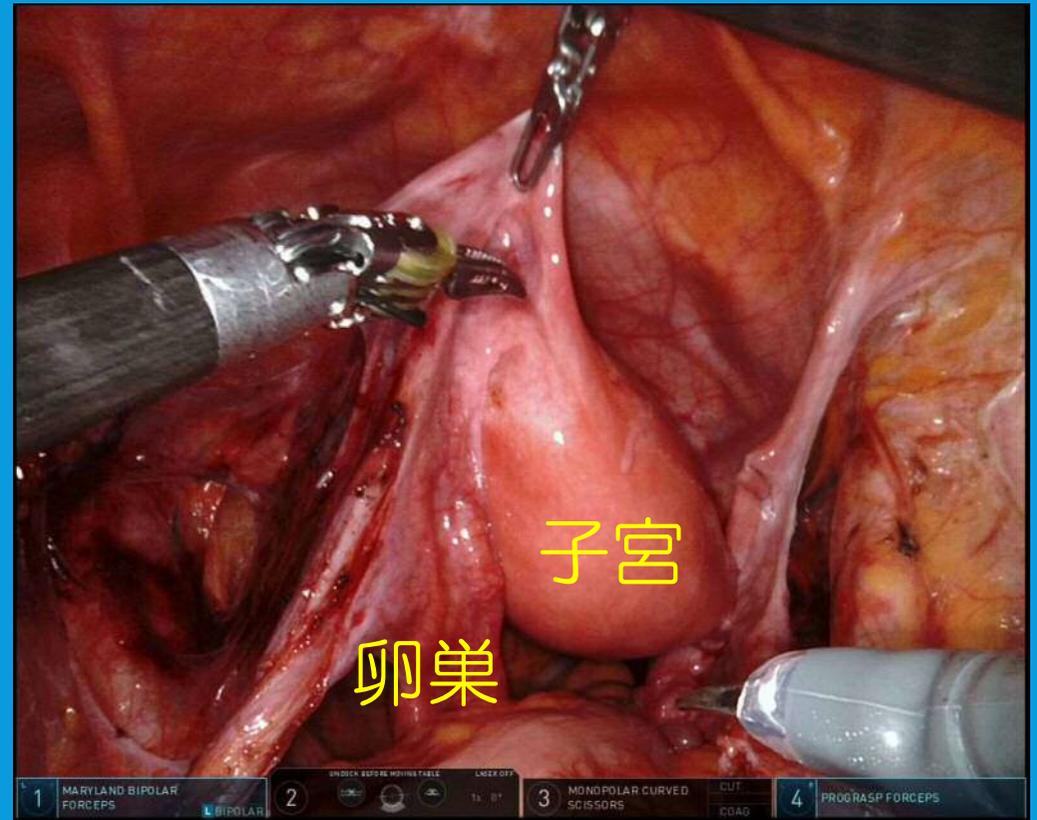
臨床研究として既に子宮頸がんのロボット手術を開始しております。

また子宮体がんにおいても、来年度より保険適用される予定です。

ロボット手術



実際の手術画像



ロボット手術

開腹手術

創が大きい

術野が広い

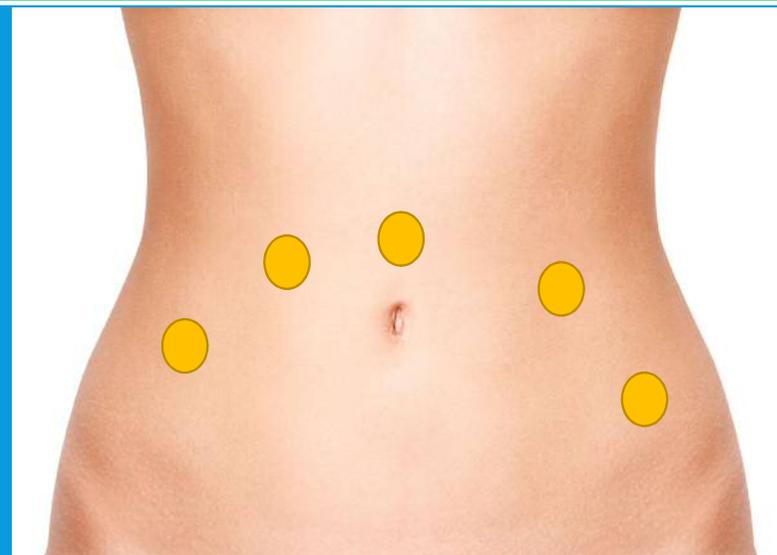
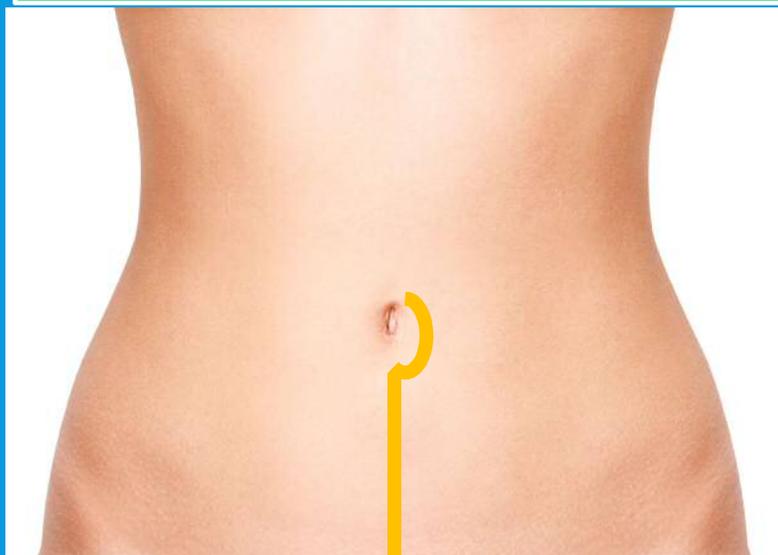
ロボット手術

創が小さい・低侵襲

出血量が少ない

手術時間が長い

ロボット手術では、1cm程の創部で手術が可能です。



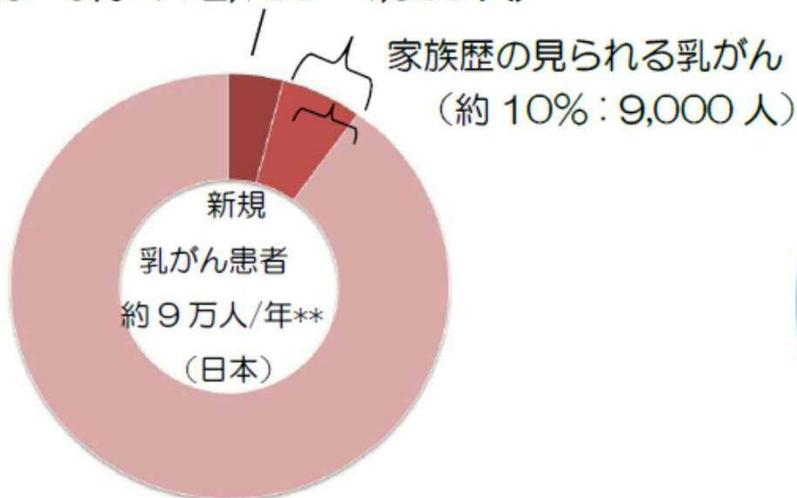
5か所切開

遺伝性乳がん卵巣がん症候群とは？

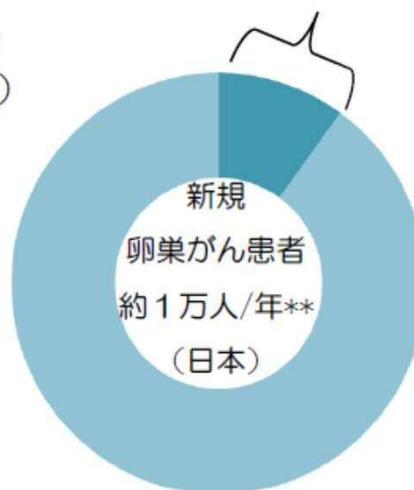
Hereditary Breast and Ovarian Cancer : HBOC

- ◇ 遺伝性のがん（遺伝要因がはっきり分かっているがん）の1つです
- ◇ *BRCA1*あるいは*BRCA2*遺伝子の変異を生まれつき持っています

遺伝性乳がん卵巣がん
(3~5%*1 : 2,700~4,500人)



遺伝性乳がん卵巣がん
(約 10%* ; 1,000人)



*海外の報告より、推定しています。

**国立がん研究センターがん情報サービス『がん登録・統計』

遺伝性乳がん卵巣がん症候群の特徴

- 若年で乳がんを発症する
- トリプルネガティブ（エストロゲン受容体、プロゲステロン受容体をもっていない、HER2 発現がないタイプ）の乳がんを発症する
- 両方の乳房にがんを発症する
- 片方の乳房に複数回乳がんを発症する
- 乳がんと卵巣がん（卵管がん、腹膜がんを含む）の両方を発症する
- 男性で乳がんを発症する
- 家系内にすい臓がんや前立腺がんになった人がいる
- 家系内に乳がんや卵巣がんになった人がいる

遺伝性乳がん卵巣がん症候群とは？

- 遺伝性乳がん症候群の乳がん患者さんは、その生涯において卵巣がんになる確率が高くなるとされております。
- BRCA遺伝子変異のある遺伝性乳がん卵巣がん症候群の方の「卵巣・卵管を予防切除すると、卵巣がんだけでなく、乳がんの発症も防ぎ、死亡率も低下させた」という報告があります。
- 当院でも、対象となる患者さんに腹腔鏡下にてリスク低減手術（予防的卵巣・卵管摘出術）を開始しております。

まとめ

- 新しい治療法（手術・薬物療法）や臨床試験など現在進行中です。

治療法・新薬など適応や対象疾患が限られる場合がありますので、疑問点や質問がありましたらお気軽にお尋ね下さい。また当院ホームページも御参照ください。

